

使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）

副教材：（ 現代高等保健体育学習書 ）

教科 保健体育 の指導目標：

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、基礎的な技能をしっかりと身に付けている。
- (2) 自ら工夫しながら、運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。
- (3) 自ら目的を持ち、生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養おうとする。

科目 体育 1 の指導目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体性・学びに向かう力、人間性等】
運動の特性に応じた技能及び安全について理解するとともに、基礎的な技能をしっかりと身に付けている。	自ら工夫しながら、運動についての自分の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。	自ら目的を持ち、生涯にわたって継続して運動に親しむとともに体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養おうとする。

履修の留意点	単位数	レポート提出規定通数	スクーリング出席規定回数	視聴メディア
必修科目のため、初年度に履修することが望ましい。	2	年 2 通	年 10 回以上	※

	スクーリング丸数字・指導単元	指導方法	指導（学習）内容	レポート	提出期限	スクーリング				備考	
						1	2	3	4		
前期	①② 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バスケットボール/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。	第1回	7月16日	5月2日	5月9日				
	③④ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バスケットボール/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			5月16日	5月23日				
	⑤⑥ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バスケットボール/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			6月6日	6月27日				
	⑦⑧ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バスケットボール/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			7月4日	7月18日				
後期	⑨⑩ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バスケットボール/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。	第2回	12月24日	10月3日	10月17日				
	⑪⑫ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バスケットボール/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			10月24日	11月7日				
	⑬⑭ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バスケットボール/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			11月21日	11月28日				

※視聴メディア(NHK高校講座)については、Web学習コースのみ

学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準	
レポート評価基準	
A	設問のほとんどすべてを正答できる程度に知識・技能が定着している。また学習した知識等を応用して高度に発展的に思考・判断し表現できる力が認められる。
B	設問のほとんどを正答できる程度に知識・技能が定着している。また学習した知識等を応用して概ね思考・判断し、表現できている。またはAのレベルに達しているが提出期限を過ぎて提出されたもの。
C	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着している。またはBのレベルに達しているが、提出期限を過ぎて提出されたもの。
D	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着しつつある。また、再提出されたレポートは、合格レベルに達していても評価が下がる。
再提出	正答が設問の合格ライン(80%以上)に到達しておらず、再度取り組みなおす必要があるもの。また、正答率が80%以上であっても取り組み方によっては再提出となることがある。
無効	著しく学習の成果が認められない場合、無効となる。提出期限までに初回の取り組みとして提出する必要がある。

観点別評価

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
自分にあった運動を知り、運動の特性に応じた技能及び安全についてレポートなどを通し理解している。	自ら工夫しながら、運動についての自分の課題を発見し、解決に向けて思考・判断することができる。	運動に親しめるように、自分にあった目標を設定し、積極的に取り組むもうとしている。

評定の方法など(前期評価・後期評価)
レポート評価点・スクーリングの出席や提出物点などを換算し評定は1～5の5段階で行う。 評定2以上で単位修得が認定される。

使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）

副教材：（ 現代高等保健体育学習書 ）

教科 保健体育 の指導目標：

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、基礎的な技能をしっかりと身に付けている。
- (2) 自ら工夫しながら、運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。
- (3) 自ら目的を持ち、生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養おうとする。

科目 体育 2 の指導目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体性・学びに向かう力、人間性等】
運動の特性に応じた技能及び安全について理解するとともに、基礎的な技能をしっかりと身に付けている。	自ら工夫しながら、運動についての自分の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。	自ら目的を持ち、生涯にわたって継続して運動に親しむとともに体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養おうとする。

履修の留意点	単位数	レポート提出規定通数	スクーリング出席規定回数	視聴メディア
必履修科目	2	年 2 通	年 10 回以上	※

	スクーリング丸数字・指導単元	指導方法	指導（学習）内容	レポ ート	提出 期限	スクーリング				備考	
前期	①② 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バドミントン/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。	第1回	7月16日	5月2日	5月16日				
	③④ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バドミントン/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			5月30日	6月13日				
	⑤⑥ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バドミントン/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			6月27日	7月4日				
	⑦⑧ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バドミントン/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			7月11日	7月18日				
後期	⑨⑩ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バドミントン/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。	第2回	12月24日	10月3日	10月17日				
	⑪⑫ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バドミントン/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			10月31日	11月14日				
	⑬⑭ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バドミントン/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			12月5日	12月12日				

※視聴メディア(NHK高校講座)については、Web学習コースのみ

学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準	
レポート評価基準	
A	設問のほとんどすべてを正答できる程度に知識・技能が定着している。また学習した知識等を応用して高度に発展的に思考・判断し表現できる力が認められる。
B	設問のほとんどを正答できる程度に知識・技能が定着している。また学習した知識等を応用して概ね思考・判断し、表現できている。またはAのレベルに達しているが提出期限を過ぎて提出されたもの。
C	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着している。またはBのレベルに達しているが、提出期限を過ぎて提出されたもの。
D	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着しつつある。また、再提出されたレポートは、合格レベルに達していても評価が下がる。
再提出	正答が設問の合格ライン(80%以上)に到達しておらず、再度取り組みなおす必要があるもの。また、正答率が80%以上であっても取り組み方によっては再提出となることがある。
無効	著しく学習の成果が認められない場合、無効となる。提出期限までに初回の取り組みとして提出する必要がある。

観点別評価

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
自分にあった運動を知り、運動の特性に応じた技能及び安全についてレポートなどを通し理解している。	自ら工夫しながら、運動についての自分の課題を発見し、解決に向けて思考・判断することができる。	運動に親しめるように、自分にあった目標を設定し、積極的に取り組むもうとしている。

評定の方法など(前期評価・後期評価)
レポート評価点・スクーリングの出席や提出物点などを換算し評定は1～5の5段階で行う。 評定2以上で単位修得が認定される。

使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）

副教材：（ 現代高等保健体育学習書 ）

教科 保健体育 の指導目標：

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、基礎的な技能をしっかりと身に付けている。
- (2) 自ら工夫しながら、運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。
- (3) 自ら目的を持ち、生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養おうとする。

科目 体育3 の指導目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体性・学びに向かう力、人間性等】
運動の特性に応じた技能及び安全について理解するとともに、基礎的な技能をしっかりと身に付けている。	自ら工夫しながら、運動についての自分の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。	自ら目的を持ち、生涯にわたって継続して運動に親しむとともに体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養おうとする。

履修の留意点	単位数	レポート提出規定通数	スクーリング出席規定回数	視聴メディア
必履修科目	3	年 3 通	年 15 回以上	※

	スクーリング丸数字・指導単元	指導方法	指導（学習）内容	レポート	提出期限	スクーリング				備考	
						1	2	3	4		
前期	①② 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バドミントン/ソフトボールなど 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。	第1回	6月18日	5月2日	5月9日				
	③④ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バドミントン/ソフトボールなど 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			5月16日	5月23日				
	⑤⑥ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バドミントン/ソフトボールなど 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			5月30日	6月6日				
	⑦⑧ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バドミントン/ソフトボールなど 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。	第2回	7月16日	6月13日	6月20日				
	⑨⑩ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バドミントン/ソフトボールなど 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			6月27日	7月4日				
	⑪⑫ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バドミントン/ソフトボールなど 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			7月11日	7月18日				
	⑬⑭ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バドミントン/ソフトボールなど 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			10月3日	10月17日				

後期	⑮⑯ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	体づくり/バドミントン/ソフトボールなど 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。	第3回	12月24日	10月24日	10月31日								
	⑰⑱ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	体づくり/バドミントン/ソフトボールなど 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			11月7日	11月14日								
	⑲⑳ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	体づくり/バドミントン/ソフトボールなど 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			11月21日	11月28日								
	㉑㉒ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	体づくり/バドミントン/ソフトボールなど 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			12月5日	12月12日								

※視聴メディア (NHK高校講座) については、Web学習コースのみ

学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準	
レポート評価基準	
A	設問のほとんどすべてを正答できる程度に知識・技能が定着している。また学習した知識等を応用して高度に発展的に思考・判断し表現できる力が認められる。
B	設問のほとんどを正答できる程度に知識・技能が定着している。また学習した知識等を応用して概ね思考・判断し、表現できている。またはAのレベルに達しているが提出期限を過ぎて提出されたもの。
C	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着している。またはBのレベルに達しているが、提出期限を過ぎて提出されたもの。
D	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着しつつある。また、再提出されたレポートは、合格レベルに達していても評価が下がる。
再提出	正答が設問の合格ライン(80%以上)に到達しておらず、再度取り組みなおす必要があるもの。また、正答率が80%以上であっても取り組み方によっては再提出となることがある。
無効	著しく学習の成果が認められない場合、無効となる。提出期限までに初回の取り組みとして提出する必要がある。

観点別評価

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
自分にあった運動を知り、運動の特性に応じた技能及び安全についてレポートなどを通し理解している。	自ら工夫しながら、運動についての自分の課題を発見し、解決に向けて思考・判断することができる。	運動に親しめるように、自分にあった目標を設定し、積極的に取り組むもうとしている。

評定の方法など(前期評価・後期評価)
レポート評価点・スクーリングの出席や提出物点などを換算し評定は1～5の5段階で行う。 評定2以上で単位修得が認定される。

使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）

副教材：（ 現代高等保健体育学習書 ）

教科 保健体育 の指導目標：

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、基礎的な技能をしっかりと身に付けている。
- (2) 自ら工夫しながら、運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。
- (3) 自ら目的を持ち、生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養おうとする。

科目 体育 4 の指導目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体性・学びに向かう力、人間性等】
運動の特性に応じた技能及び安全について理解するとともに、基礎的な技能をしっかりと身に付けている。	自ら工夫しながら、運動についての自分の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。	自ら目的を持ち、生涯にわたって継続して運動に親しむとともに体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養おうとする。

履修の留意点	単位数	レポート提出規定通数	スクーリング出席規定回数	視聴メディア
必履修科目	1	年 1 通	年 5 回以上	※

	スクーリング丸数字・指導単元	指導方法	指導（学習）内容	レポート	提出期限	スクーリング				備考	
						1	2	3	4		
前期	① 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バスケットボール/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。	第1回	7月16日	5月9日	5月23日				
	② 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バスケットボール/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			5月30日	6月6日				
	③ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バスケットボール/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			6月20日	7月4日				
	④ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バスケットボール/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			7月11日	10月10日				
後期	⑤ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バスケットボール/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			10月23日	10月31日				
	⑥ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バスケットボール/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			11月7日	11月21日				
	⑦ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	体づくり/バスケットボール/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			11月28日	12月5日				

⑧ 自分にあった運動を知り、生涯にわたって継続して運動に親しめるようにする。運動の特性に応じた技能及び安全について理解する。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	体づくり/バスケットボール/フットサル 体育館/柔道場/グラウンドに分かれて活動する。			1 2 月 1 2 日	1 1 月 1 9 日		
---	----------------------------------	--	--	--	----------------------------	----------------------------	--	--

※視聴メディア (NHK高校講座) については、Web学習コースのみ

学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準	
レポート評価基準	
A	設問のほとんどすべてを正答できる程度に知識・技能が定着している。また学習した知識等を応用して高度に発展的に思考・判断し表現できる力が認められる。
B	設問のほとんどを正答できる程度に知識・技能が定着している。また学習した知識等を応用して概ね思考・判断し、表現できている。またはAのレベルに達しているが提出期限を過ぎて提出されたもの。
C	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着している。またはBのレベルに達しているが、提出期限を過ぎて提出されたもの。
D	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着しつつある。また、再提出されたレポートは、合格レベルに達していても評価が下がる。
再提出	正答が設問の合格ライン(80%以上)に到達しておらず、再度取り組みなおす必要があるもの。また、正答率が80%以上であっても取り組み方によっては再提出となることがある。
無効	著しく学習の成果が認められない場合、無効となる。提出期限までに初回の取り組みとして提出する必要がある。

観点別評価

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
自分にあった運動を知り、運動の特性に応じた技能及び安全についてレポートなどを通し理解している。	自ら工夫しながら、運動についての自分の課題を発見し、解決に向けて思考・判断することができる。	運動に親しめるように、自分にあった目標を設定し、積極的に取り組むもうとしている。

評定の方法など(前期評価・後期評価)
レポート評価点・スクーリングの出席や提出物点などを換算し評定は1～5の5段階で行う。 評定2以上で単位修得が認定される。

使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）

副教材：（ 現代高等保健体育学習書 ）

教科 保健体育 の指導目標：

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、高度な技能を身に付けている。
- (2) 自ら工夫しながら、運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。
- (3) 自ら目的を持ち、生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養おうとする。

科目 保健 1 の指導目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体性・学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けることができる。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、主体的に目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができる。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を主体的に養うことができる。

履修の留意点	単位数	レポート提出規定通数	スクーリング出席規定回数	視聴メディア
必修科目のため、初年度に履修することが望ましい。	1	年 3 通	年 1 回以上	※

	スクーリング丸数字・指導単元	指導方法	指導（学習）内容	レポート	提出期限				スクーリング	備考
					1	2	3	4		
前期	A 現代社会と健康① 【知識及び技能】 日常生活習慣の中から健康を脅かす危険因子を検証し、自分自身の健康を考える。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 学習する事柄について、現代の最新の情報を取り入れ、自分の生活に取り入れようとしている。 【思考・判断・表現】 自分で得た情報を使って、考え判断して、自分の行動をレポートや授業で表現して、振り返ろうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分で主体的に学習して自分の生活をよりよくするために、どんな事柄に対しても積極的に学ぶ姿勢で取り組もうとしている。	第1回	7月16日	5月23日	6月20日	7月11日		
	定期考査	前期試験 9月の土曜 試験範囲、時間割等の詳細は「一橋通信」にて発表								
後期	A 現代社会と健康② 【知識及び技能】 日常生活習慣の中から健康を脅かす危険因子を検証し、自分自身の健康を考える。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 学習する事柄について、現代の最新の情報を取り入れ、自分の生活に取り入れようとしている。 【思考・判断・表現】 自分で得た情報を使って、考え判断して、自分の行動をレポートや授業で表現して、振り返ろうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分で主体的に学習して自分の生活をよりよくするために、どんな事柄に対しても積極的に学ぶ姿勢で取り組もうとしている。	第2回	11月12日	10月17日	10月24日	11月7日		
	A 現代社会と健康③ 【知識及び技能】 日常生活習慣の中から健康を脅かす危険因子を検証し、自分自身の健康を考える。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 学習する事柄について、現代の最新の情報を取り入れ、自分の生活に取り入れようとしている。 【思考・判断・表現】 自分で得た情報を使って、考え判断して、自分の行動をレポートや授業で表現して、振り返ろうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分で主体的に学習して自分の生活をよりよくするために、どんな事柄に対しても積極的に学ぶ姿勢で取り組もうとしている。	第3回	12月24日	11月21日	12月12日	12月19日		

※視聴メディア(NHK高校講座)については、Web学習コースのみ

学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準

レポート評価基準

A	設問のほとんどすべてを正答できる程度に知識・技能が定着している。また学習した知識等を応用して高度に発展的に思考・判断し表現できる力が認められる。
B	設問のほとんどを正答できる程度に知識・技能が定着している。また学習した知識等を応用して概ね思考・判断し、表現できている。またはAのレベルに達しているが提出期限を過ぎて提出されたもの。
C	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着している。またはBのレベルに達しているが、提出期限を過ぎて提出されたもの。
D	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着しつつある。また、再提出されたレポートは、合格レベルに達していても評価が下がる。
再提出	正答が設問の合格ライン(80%以上)に到達しておらず、再度取り組みなおす必要があるもの。また、正答率が80%以上であっても取り組み方によっては再提出となることがある。
無効	著しく学習の成果が認められない場合、無効となる。提出期限までに初回の取り組みとして提出する必要がある。

観点別評価

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、高度な技能を身に付けている。	自ら工夫しながら、運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。	自ら目的を持ち、生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養おうとする。

評定の方法など(前期評価・後期評価)

定期考査・レポート評価点・スクーリングの出席や提出物点などを換算し評定は1～5の5段階で行う。

評定2以上で単位修得が認定される。

学年末の成績が著しく悪い場合は、単位修得に向けての機会を設けることがある。

使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）
 副教材：（ 現代高等保健体育学習書 ）

教科 保健体育 の指導目標：

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、高度な技能を身に付けている。
- (2) 自ら工夫しながら、運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。
- (3) 自ら目的を持ち、生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養おうとする。

科目 保健 2 の指導目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体性・学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けることができる。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、主体的に目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができる。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を主体的に養うことができる。

履修の留意点	単位数	レポート提出規定通数	スクーリング出席規定回数	視聴メディア
必修科目	1	年 3 通	年 1 回以上	※

	スクーリング丸数字・指導単元	指導方法	指導（学習）内容	レポート	提出期限				スクーリング	備考
					1	2	3	4		
前期	A 生涯に通じる健康① 【知識及び技能】 思春期と健康・性意識と性行動の選択・結婚生活と健康・妊娠と出産と健康・家族計画と人工妊娠中絶について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 学習する事柄について、現代の最新の情報を取り入れ、自分の生活に取り入れようとしている。 【思考・判断・表現】 自分で得た情報を使って、考え判断して、自分の行動をレポートや授業で表現して、振り返ろうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分で主体的に学習して自分の生活をよりよくするために、どんな事柄に対しても積極的に学ぶ姿勢で取り組もうとしている。	第1回	7月16日	5月23日	6月13日	7月4日		
	定期考査	前期試験 9月の土曜 試験範囲、時間割等の詳細は「一橋通信」にて発表								
	A 生涯に通じる健康② 【知識及び技能】 加齢と健康・高齢者のための社会的とりくみ・保健制度とその活用・医療制度とその活用・医薬品と健康・さまざまな保健活動や対策について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 学習する事柄について、現代の最新の情報を取り入れ、自分の生活に取り入れようとしている。 【思考・判断・表現】 自分で得た情報を使って、考え判断して、自分の行動をレポートや授業で表現して、振り返ろうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分で主体的に学習して自分の生活をよりよくするために、どんな事柄に対しても積極的に学ぶ姿勢で取り組もうとしている。	第2回	11月12日	10月10日	10月17日	11月7日		

後期	A 社会生活と健康③ 【知識及び技能】 大気汚染と健康・水質汚濁・土壌汚染と健康・健康被害の防止と環境対策・環境衛生活動のしくみと働き・食品衛生のしくみと働き・食品と環境の保健と私たち・働くことと健康・労働災害と健康・健康的な職業生活について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 学習する事柄について、現代の最新の情報を取り入れ、自分の生活に取り入れようとしている。 【思考・判断・表現】 自分で得た情報を使って、考え判断して、自分の行動をレポートや授業で表現して、振り返ろうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分で主体的に学習して自分の生活をよりよくするために、どんな事柄に対しても積極的に学ぶ姿勢で取り組もうとしている。	第3回	1 2 月 2 4 日	1 1 月 2 1 日	1 1 月 2 8 日	1 2 月 1 9 日										
	定期考査	後期試験 1月～2月の土曜日 試験範囲、時間割等の詳細は「一橋通信」にて発表																

※視聴メディア (NHK高校講座) については、Web学習コースのみ

学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準	
レポート評価基準	
A	設問のほとんどすべてを正答できる程度に知識・技能が定着している。また学習した知識等を応用して高度に発展的に思考・判断し表現できる力が認められる。
B	設問のほとんどを正答できる程度に知識・技能が定着している。また学習した知識等を応用して概ね思考・判断し、表現できている。またはAのレベルに達しているが提出期限を過ぎて提出されたもの。
C	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着している。またはBのレベルに達しているが、提出期限を過ぎて提出されたもの。
D	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着しつつある。また、再提出されたレポートは、合格レベルに達していても評価が下がる。
再提出	正答が設問の合格ライン(80%以上)に到達しておらず、再度取り組みなおす必要があるもの。また、正答率が80%以上であっても取り組み方によっては再提出となることがある。
無効	著しく学習の成果が認められない場合、無効となる。提出期限までに初回の取り組みとして提出する必要がある。

観点別評価

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、高度な技能を身に付けている。	自ら工夫しながら、運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。	自ら目的を持ち、生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養おうとする。

評定の方法など(前期評価・後期評価)
定期考査・レポート評価点・スクーリングの出席や提出物点などを換算し評定は1～5の5段階で行う。 評定2以上で単位修得が認定される。 学年末の成績が著しく悪い場合は、単位修得に向けての機会を設けることがある。